

知事と区市町村長との意見交換（江東区）

令和1年10月7日（月）

16時50分～17時10分

○行政部長 早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 山崎区長におかれましては、先だっても豊洲市場の開設1周年記念ということで御一緒させていただきました。また、先般は中央防波堤の埋立地境界確定問題に関しまして、臨海地域の今後の発展に対して、区の皆様と一緒に頑張ってさらに力を尽くしたいと、このように申し上げたところでございます。

また、都ではこの度、今はラグビーのワールドカップで燃えていますし、さらにはその後、東京2020大会、そこがゴールではありませんので、その先をどうしていくかという種を探して、そして整理をしていかなければいけない段階かと思えます。

そういう意味で今の話、さらにはその後の話も、ビジョン等も伺わせていただいて、それを長期戦略策定のためのビジョンの中にも埋め込ませていただこうと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○行政部長 それでは山崎区長、よろしくをお願いいたします。

○江東区長 今日はこうした機会をつくっていただいて、ありがとうございます。江東区としては、もう8号線のこと一本でちょっとお話をさせていただきにまいりました。

御存じのように、長い間の懸案事項でございますが、そこにあるように路線についてはもう重々知事も御存じのとおりでございます。

これの効果は、特に地下鉄の東西線の混雑率が日本一の199%というのを解消する。これ8号線できると現在の推定では20%ぐらい下がるということ。他の路線についても、当然混雑率が低下していくことはもう明らかでありまして、非常に大きな効果がある。

その他にも国際競争力とか、あるいは災害の時の事だとか、いろいろ効果はあるんですけども、要はこの問題について区としては、長い間、都との協議を続けてまいりました。豊洲とそれから住吉に既に8号線用のホームが出来ていると。これは、なぜだか御存じだと思んですけども、実は昭和54年に有楽町線が新富町から新木場に通る時に当時は営団でございましたが、車庫がなければ、これ線が出来ませんので、何としても車庫を確保したいと。そのためには新木場に空いている土地がある。これ都用地ですけどね。

それを使わせてくれということになりまして、この土地は都と区で長い間いろいろな公害問題、あるいはごみの問題等で、江東区の公害関連の企業の移転等用地として用意された土地です。これは区民にとっても、区にとっても大事な土地であったわけですけども、車庫がなければ地下鉄が通らないということで、区としては8号北上線をやってくださいという要望していましたので、都とメトロ、当時は営団が8号北上線をやりますと。やります、だから車庫を確保してほしいと、了承してほしいということで、江東区はそれでは条件としてそういう条件で車庫を提供することを了承したわけですね。

ですから既に将来、出来るだろうということで、8号線用の地下ホームがもう既にその時に着手をしたわけですね。営団としては8号北上線の免許申請もしたんです。ところが民営化ということになりまして、これがそのままストップしてしまった。その時の約束をメトロは果たしてないのが現実です。そういった問題があります。

それから平成23年ですか。豊洲市場への築地の市場の移転として、江東区の下承を取り付けると。そのために佐藤副知事がお見えになって、8号線は全力を挙げてやりますという約束をした。しかし前進がなかった。

そして、去年、一昨年ですか。長谷川副知事がお見えになって、今度は豊洲市場の開場日を決めるにあたっての約束。それは年度内にスキームをきちんと提示しますから了承してくださいってということで、私どもは開場を了承しました。

だから長谷川副知事との約束、それから佐藤副知事との築地の市場の受け入れという、東京都にとっては6,000億から掛かる一大事業を成し遂げる大事な大事業ですから、その下承を取り付けるのは地元区の下承が必要だということでお約束をしたにも関わらず、前進がないじゃないかということで、江東区としては強くこの点を訴え続けてきているわけですね。

ぜひこの点については、御理解をいただいて前進をさせてほしいと。様々な課題はありますし、私もある程度のことは重々承知しておりますけれども、こうした公の席ですから中身についてお話しはいたしませんけれども、区としての要望、この点については約束を反古にしないでほしい。そして区民が、また区議会が頑張ってくれているんだなど、希望の持てる御回答を賜ればありがたいというふうに思っていますので、今日はこの1点についてお願いをさせていただきたいと思います。

○知事 今日は8号線の課題という、この1点でいただいております。今お話ありましたように、振り返れば昭和の時代からのずっと長い長い話で、昭和が平成に変わり、平成からつい先日、令和に変わったということです。

私はやはりこの東京の持続的な発展のためには、交通網の整理とまた整備が必要だということは、これは誰もが思うことでもありますし、また、今後の東京の持続可能な成長のためにも、また都民の足の確保、また快適な通勤の確保のためにも、東西線は先ほどもお話ありましたように199%という一番混雑率が高いという路線になっております。

そこで臨海地域の今後の発展等も考えますと、8号線は寄与するというのは、これはもう論を待たないわけでありまして。これまで事業スキームの概要を提示させていただいて、東京メトロによる整備、運行が合理的だという考えをまとめまして、国にもその旨を主張させていただいています。

今、国とメトロとの調整を東京都として、まさに進めているところでございまして、これまでの長い、昭和以来の区の強い思いも踏まえまして、地下鉄8号線の延伸の早期実現に向けまして、私自身も全力で取り組んでいきたいと考えております。

様々な課題はございますけれども、また都としましてこの8号線と、そしてまた東京全体の中での様々な課題はございますけれども、これについては昭和以来のことと、先ほどの

話がございました。そういったことから関係者との調整、これに真剣に取り組んでいるところですよ。

○江東区長 中防の問題も昭和から令和まで掛かってしまったと。

○知事 昭和 50 年くらいから。

○江東区長 そうなんです。この 8 号線についても同じでございまして、その間様々なことはありましたけれども、やはり都と区のこの連携は、都民、区民にとって結局は幸せに繋がるわけですから、お互い力を合わせて理解し合いながら協力していかないと、物事成し遂げられないと。

中防の大田区との問題も、そういった意味では私どもは裁判では敗れたわけですが、断腸の思いでこれを前に進めるべく了承をしたということでございまして、この 8 号線についても、やはり江東区のためだけではなくて、墨田も葛飾も、あるいは今後の東京全体の発展のためにも、どうしてもその東部の交通というものは必要だということは、もう既に国の方もある程度は御理解いただいている。

ただ、いくつかの課題があって、具体には申し上げませんが、それを一つ一つ早くクリアしていただかないと進んでいかないと思いますので、知事が今、先頭に立ってというお話いただきましたので、これで区議会に対してもしっかりと説明をして、現在国ともメトロとも協議中だよと、話が進んでいるらしいぞということは、しっかり伝えます。

今後区との、区議会との、今余り拒絶反応があるところですが、そういったところは何とかクリアして理解してもらいたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○知事 どうぞ区長の方からも、その旨よろしく区議会の皆様方にお伝えいただければと、このように期待をいたしております。よろしく願いいたします。折角ですから、はい。

○江東区長 時間が。

○知事 いや、大丈夫です。ちゃんとそれぞれ取らせていただいています。本当にいいんですか。よろしいですか。

また、江東区には今回大会会場がいくつもありますし、いろいろ未来志向の塊があちこちに散らばっているわけで、それをうまく大会終了後も都民の財産として有効に活用していくということで、またこの点についても連携を取らせていただければと思っております。

○江東区長 ロンドンの場合にはオリンピックの前に既にロンドンプランがあって、その中でのオリンピックで、ロンドンの東の港湾地域の開発がうまくいったと思うんですね。

東京の場合には既にまちが出来上がっちゃっていると、ほとんど。そうした中でのこのオリンピックですから、ですから本来であれば、その都市計画の中にオリンピックの競技場が配置されていって、それぞれが皆連携をして一つの大きなスポーツゾーン、あるいはオリンピックメモリアルパークのような大きな構想がなかったんですね。どうしても一つ一つの競技場が独立してしまったと。

これを計画の段階から叫んできたんですが、なかなかうまくいかなかった。招致にばかり夢中になっていまして、勝つためにはいい計画を出して IOC の票を集めると。ですから

競技団体ばかりに目がいったというところが、私自身自身も招致の会長をやって反省しているところなんです。

だから小池知事になられたんだから、体制が変わったわけですから、これはレガシーとしてこれらを今度どうやって統合して臨海部の開発、発展に結び付けていくかが、これからの知事さんの大きなその手腕の見せ所になってくるんだらうと思うんです。

あれだけの競技場がまとまってあるというのは日本でありませんでね、これは東京にとっても、都民にとっても大きな財産にならうというふうに思うんですよ。ぜひ知事の力でそれは成し遂げてほしいなというふうに思います。

○知事 臨海地域、6つの区と連携していただいて、また連携させていただいて、この臨海地区というのはやはりこれからも伸びる所でございますし、そこにレガシーをうまく活用して、例えば隣の江戸川区さんにしても、あそこのカヌースラロームも、非常に都民の水という点で非常に遊ぶには、とてもいい所になっています。そういったところをずっと、都とすれば連携させていただくことによって、いい効果が出てくるようにしていきたいと、こう思っております。

また、おっしゃるように臨海部というのは、どちらかと言うと点で進めてきた部分があるので、それを面にしていこうということから、この臨海地域のビジョン等についてもまとめさせていただいているところです。

また、やはり計画してないと、例えば声が出る場所等はその前に住宅があると、今度はうるさいという話が出てきたりしますので、前もってそういった地域についてのどういふこの建物にしていくか、どういふ使い方をしていくかっていうのを最初に決めておかないと、後から計画を被せることによって捻じ曲がってしまう。

その辺のところは、おっしゃるところ重々承知をしながら、これからも湾岸地域全体として進めていきたいと思っております。これからもどうぞ御協力のほど、よろしく願いいたします。

○行政部長 よろしいでしょうか。それでは意見交換を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。